

委員会事業方針・事業計画

総務委員会

担当副理事長 宮崎 敬也

基本方針

我々が住み暮らすこの「故郷」は、時に厳しくも豊かな風土の中で人々が支え合い、営みを重ね続けて今日の繁栄を築きあげました。しかしながら、日々刻々と「故郷」の状況は変化しており、「故郷」の未来はどのような姿となるのか今岐路に立たされています。この愛すべき「故郷」と共に時を過ごし育まれてきた我々は、責任ある青年世代として、次代へと襷を繋げるべく青年会議所運動を展開し、夢溢れる「故郷」の未来を実現していかなければなりません。

その為に、総務委員会は執行部との連携を図りながら公益法人制度改革に則る信任ある組織運営を確立すると共に、基本的な担いである総会と各種定例会を円滑に執り行うことで、夢溢れる「故郷」の未来の実現に向けた積極的な運動展開を支えて参ります。また、対外へ向けた当会の情報公開はもとより、運動展開も広く発信していくことで地域への認知と浸透を図り、青年会議所運動の最善を尽くせる環境を培って参ります。

総務委員会が、信任ある組織運営の確立を図りながら当会の積極的な運動展開を支えると共に、青年会議所運動の最善を尽くせる環境を培うことにより、次代へと襷を繋ぎ夢溢れる「故郷」の未来を実現できると確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 對馬 央也

基本方針

五所川原青年会議所は、愛すべき「故郷」の繁栄を築く為に「まちづくり・ひとづくり運動」を展開して参りました。今日まで先人が築き上げたこの愛すべき「故郷」に育まれてきた我々は、今まさに「故郷」を取り巻く人口減少・少子高齢化・経済の低迷等の諸問題に対し、責任ある青年世代として、次代へと襷を繋げるべく当会の積極的な運動を展開し、夢溢れる「故郷」の未来を実現していく必要があると考えます。

今年度、総務委員会では、執行部との連携を図りながら公益法人制度改革に則る当会の信頼ある組織づくりを確立すると共に、基本的な担いである新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙の開催、各委員会・特別室が担当する定例会の設営を行います。また、会員名簿・基本資料を作成し対外へ向けた情報公開、さらには、地域の皆様に広く認知して頂く為にホームページを活用した情報発信を行うことで、当会の積極的な運動を展開できる環境を整えて参ります。

総務委員会が、信頼ある組織づくり、総会の開催・定例会の設営、地域への情報発信を担い、当会の運動を「SUPPORT」することにより、次代へと襷を繋ぎ夢溢れる「故郷」の未来を実現できると確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※総会・例会の運営

◎ 新年祝賀会（1月） 他1

当会の2016年度の活動内容並びに方向性を関係諸団体にお伝えし、認知と浸透を図ることを目的とした事業

・通信運搬費	15,000円	・印刷製本費	10,000円
・委託費	130,000円		

予算 155,000円

◎ 通常総会（2月）（管理費に計上）

当会の2015年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	45,000円

予算 65,000円

◎ 定例会（7月） 他1

選考委員会委員選挙

当会の2016年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	5,000円		

予算 25,000円

◎ 通常総会（9月）（管理費に計上）

当会の2017年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	15,000円

予算 35,000円

◎ 定例会（12月） 他1

当会の2017年度の基本方針（案）及び、収支予算について報告を行い、2017年度へと引き継ぐことを目的とした定例会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	15,000円	・賃借料	35,000円
・委託費	5,000円		

予算 65,000円

※その他の事業

◎ 褒賞の企画 他1

2016年度の青年会議所活動に貢献・功勞したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とした事業（LOM内褒賞）

・雑費 30,000円

予算 30,000円

◎ 基本資料の作成（管理費に計上）

・委託費 250,000円

予算 250,000円

◎ 会員名簿の作成（対外配布分）（管理費に計上）

・通信運搬費 1,000円 ・消耗品費 1,000円
 ・委託費 70,000円

予算 72,000円

◎ WEBサイトの企画・運営 他3

・委託費 60,000円

予算 60,000円

◎ 定例会の設営

事業費合計 757,000円

会員委員会

担当副理事長 宮崎 敬也

基本方針

青年会議所運動を展開する時、その運動が伝播する力は会員数と個々の持つ資質、そして会員相互の協調性により明白な差が生まれます。近年の当会は団塊ジュニア世代の卒業が顕著に表れている状況であり、継続的な会員拡大が求められています。我々の住み暮らす「故郷」が、これから何年先も夢で溢れた「故郷」であり続けられるよう次代へ襷を繋ぐためにも、青年会議所運動の根幹である会員拡大と人材育成を図りつつ、会員相互の絆を深めなければなりません。

その為に会員委員会は、本会との緊密な連携を図りながら会員拡大の意義を会全体で共有し、会員拡大を推し進めて参ります。更には、会員個々の資質向上を図る機会を設け、青年としての英知を高めると共に地域を背負って立つ気概と情熱を宿します。また、新入会員や当会の先輩方も含めた各種交流事業を実施していくことにより、巡り合わせた仲間達と切磋琢磨しつつ活発に青年会議所運動を展開できるように働きかけます。

会員拡大の意義を会全体で共有し、拡大を推し進めながら会員個々の資質向上を図ると共に、各種交流事業を通じて相互の絆を高めていくことにより、青年会議所運動が力強く展開され、夢で溢れた地域であり続けられるよう次代へ襷を繋ぎます。

委員長 對馬 幸征

基本方針

我々の住み暮らすこの愛すべき「故郷」の「明るい豊かな社会」の実現の為に、青年会議所運動を展開する際、運動の大きさと会員数は深い関係にあります。そうした中、五所川原青年会議所は団塊ジュニア世代の卒業が近年顕著な傾向を辿り、会員拡大は急務であります。また、会員の増加に努めるのみではなく、個々の資質を磨き品格ある人材育成を図りながら、会員相互の協調性を高めて夢で溢れた「故郷」であり続けるよう、未来を担う人たちへ襷を繋げなければなりません。

まずは、日本青年会議所の会員拡大プログラムを通じて拡大の意義や目的を会員拡大に反映できるよう会員委員会が学びます。そして、会員全体に共有し西北五地域の20歳から40歳までの青年を対象に異業種交流会を開催し拡大を進めます。また、青年としての英知の向上を図る機会を設けて会員個々の資質向上に努め、気概ある青年団体を目指します。更に、新入会員や当会の先輩方を交えて親睦を深めて頂く会員交流会を開催し、当会全体の活性化に繋がるように努めて参ります。

「会員拡大」、「資質向上」、「会員交流」の各種会員拡大事業を通じて、巡り合せた一生涯の仲間と意義を共有し青年会議所運動を展開することで、地域を背負って立つという気概を高め、夢に溢れた地域を目指し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会（未定） 他2

「会員の資質向上に繋がる事業」（仮称）

会員の資質向上に繋がることを目的とする定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	15,000円
・印刷製本費	150,000円	・賃借料	7,000円
・諸謝金	30,000円	・雑費	5,000円

予算 78,000円

※その他の事業

◎ 異業種交流会（未定） 他1

会員拡大（西北五地域の20～40歳以下対象）に繋げることを目的とする事業。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	10,000円	・雑費	5,000円

予算 25,000円

◎ OB交流会（未定） 他1

OBの方と現役メンバーの交流を深めることを目的とする事業。

・通信運搬費	3,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	3,000円	・委託費	10,000円
・雑費	5,000円		

予算 31,000円

◎ 家族交流会（未定） 他1

会員家族同士が交流・親睦を深めることを目的とする事業。

・通信運搬費	3,000円	・消耗品費	20,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	10,000円
・保険料	5,000円	・委託費	5,000円
・雑費	15,000円		

予算 61,000円

◎ 新入会員セミナー（未定） 他1

入会3年以内の会員を対象に青年会議所の活動内容や組織を理解していただくことを目的とする事業。

・通信運搬費	3,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	5,000円	・雑費	5,000円

予算 24,000円

◎ 会員拡大事業（通年） 他2

新入会員の増進を目的とする事業。

・通信運搬費	10,000円
--------	---------

予算 10,000円

事業費合計 229,000円

青少年委員会

担当副理事長 高橋 美奈

基本方針

我々の幼少期は、祖父母の世代や近所との交流で地域の伝統や歴史、人と人との絆やコミュニケーション能力を自然に身につける事が出来ましたが、現代の子供達を取巻く環境は、核家族化やITの普及により、それを当りに学べる機会が減少しています。明るい豊かな未来を担うのは、この地域に住み暮らす無限の可能性を持つ子供達です。教育機関だけに頼るのではなく、我々地域の大人が責任を持ち、「故郷」を愛する心や、地域の未来を牽引出来る子供達を育成していかなければなりません。

今年度、青少年委員会では、子供達がこの地域に住み暮らす人と触れ合い、地域の伝統や文化を学び、魅力ある「故郷」を愛する心を育てて参ります。そして、今の子供達が、まちづくりの当事者となり、この地域を牽引する時に、生まれ育った「故郷」の未来を本気で考え、自らが社会に参画出来るよう、知識を習得し、体験する機会を設けます。さらに、関係諸団体との連携を密にし、心身ともにたくましく、活力ある青少年を育成して参ります。

次代を担う子供達が、地域の人と人との繋がりを体感し、まちを知る事で、「故郷」を愛する心が芽生え、未来は自らの手で創造するという想いを抱き、まちづくりへの当事者意識を持った、次代を牽引する担い手と成長するものと信じ、一年間邁進して参ります。

委員長 佐々木 篤 史

基本方針

地域にとって「宝物」である子供達。この子供達を取り巻く環境は年々良くなっているとは決して言えず、人と人との繋がりや歴史・伝統、地域への興味も希薄となり「故郷」を愛する心も失われつつあります。「故郷」を愛する心を育てるには教育機関や家庭のみならず、我々地域の大人も責任を持ち、その愛する心を芽生えさせ、また、愛すべき「故郷」の為に、未来のこの地域を牽引できる「青少年」を育成する必要があると考えます。

今年度、青少年委員会では、子供たちにこの地域の魅力を通して「故郷」の持つ素晴らしさを学び、成人してもこの地を愛し、永住したいと思う心を育くませることを目的とした事業を開催します。また、子供達に大人への大きな第一歩を踏み出してもらい、社会参加の意義を伝える事業を開催し、「故郷」の未来を心から見つめることができる青少年を育成します。更には「わんぱく相撲」を開催することにより青少年の健全なる心身の育成をして参ります。

「宝物」である子供達が、「故郷」に興味を持つことで「故郷」を愛し、そしてこの愛すべき「故郷」の未来を心から見つめることにより、子供達は「故郷の宝」として大きな輝きを放ち地域を牽引する担い手として成長するものと確信致します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 公開定例会（8月） 公1

「郷土愛を育む事業」（仮称）

子供達が故郷の素晴らしさを学び、心を育む事業

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	30,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	10,000円
・委託費	100,000円	・雑費	30,000円

予算 190,000円

◎ 公開定例会（11月） 法人会計より

「模擬選挙」（仮称）

模擬選挙を通して子供達への社会参加の意義を伝える事業

・通信運搬費	15,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	50,000円	・雑費	10,000円
・委託費	10,000円		

予算 95,000円

※その他の事業

◎ 「青少年の社会参加の意義を伝える」（仮称） 法人会計より

子供達に社会参加の意義を伝え、故郷の未来を心から見つめる事業

・通信運搬費	15,000円	・消耗品費	20,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	100,000円
・委託費	180,000円	・雑費	20,000円

予算 345,000円

◎ わんぱく相撲津軽地区及び全国大会 公1

わんぱく相撲各会の設営及び運営

・旅費交通費	90,000円	・保険料	2,000円
・委託費	30,000円	・通信運搬費	1,000円
・支払負担金	10,000円	・雑費	30,000円

予算 163,000円

事業費合計 793,000円

まつり委員会

担当副理事長 榎 崎 誉 人

基本方針

我々が愛するこの奥津軽で「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて、地域の皆様と共に開催している「奥津軽虫と火まつり」も本年度で第44回を迎えます。古くから地域の皆様に愛されているこのまつりも参加団体の減少、後継者不足等様々な問題を抱えております。大きな節目である「第50回奥津軽虫と火まつり」の開催を念頭に置きながら、伝統の燈火を絶やさぬ様、関係諸団体と連携を図り継続的かつ進歩的な運動を展開して行かなければなりません。

その為にも、西北五地域の学生の方々に協力して頂きながら「奥津軽虫と火まつり」の意義をこの地域に住まう子供達へ確実に伝承し、共感をして頂いた方が「奥津軽虫と火まつり」に参加できる環境を整備して参ります。また、今年度も「奥津軽虫と火まつり実行委員会」を組織し、現行の問題点やこれから起こり得る問題点を洗い出し、関係諸団体との連携を密に図りながら長期的な運動を展開して参ります。

広大な津軽平野と岩木川、そして母なる岩木山。心地良く愛おしいこの「故郷」に脈々と受け継がれてきた伝統の燈火を、「故郷」の宝である子供達に伝承する事が我々の願いである「明るい豊かな社会の実現」、そしてこの地域の「弥栄」に繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

委員長 田 中 宏 明

基本方針

愛しく誇れる私達の「故郷」、奥津軽。「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて、地域の皆様と協力して行ってきた「奥津軽虫と火まつり」も本年度で44回を迎えます。伝統行事として定着したこのまつりも、観客数が徐々に増える一方、年々、参加団体が減少し、後継者不足等の問題が懸念されております。先人達から伝承を続け、長きに渡り行われてきたこのまつりの燈火を引き継いでいく為、関係諸団体と協力し、持続的な運動展開をしなければなりません。

その為には、これまで行われてきた親善大使活動を継続し、高校生と大学生を親善大使に認定する定例会を開催し、親善大使による地域の皆様へのまつりの周知活動と、小学生へのまつりの意義の伝承を行います。そして、この活動を通じて共感を得た方達が「奥津軽虫と火まつり」に有意義に参加できる環境を整えて参ります。また、節目となる「第50回奥津軽虫と火まつり」を念頭に置き、まつりの諸問題を解決する方法を考え、関係諸団体と協力し合いながら持続的な運動展開を行って参ります。

幾度となく天災を「不撓不屈」の精神で乗り越えてきた先人達。この先人達より受け継がれてきた「虫送り」の燈火を、地域の宝である子供達に伝承する事が、我々の願いである「明るい豊かな社会の実現」、そしてこの地域の「弥栄」に繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 公開定例会（4月） 公2

「学び、そして伝える奥津軽虫と火まつり」（仮称）

高校生と大学生が「奥津軽虫と火まつり」を学び、この地域に無くてはならないまつりである事を認識して頂く。また、親善大使の任命式を行って親善大使活動を意欲的に行っていく事をねらいとした定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	60,000円	・燃料費	10,000円
・賃借料	10,000円	・保険料	5,000円
・諸謝金	5,000円	・委託費	10,000円
・雑費	15,000円		

予算 131,000円

◎ 公開定例会（6月） 公2

「奥津軽虫と火まつり」

公益社団法人五所川原青年会議所が主催し、地域の人々や参加者と共に「天下泰平・国家安泰・五穀豊穰・悪疫退散」の祈りを込め地域の幸せを願う定例会。

・旅費交通費	5,000円	・通信運搬費	70,000円
・消耗什器備品費	30,000円	・消耗品費	850,000円
・印刷製本費	100,000円	・賃借料	110,000円
・保険料	200,000円	・諸謝金	200,000円
・租税公課	10,000円	・支払負担金	35,000円
・委託費	1,800,000円	・衛生費	220,000円
・雑費	220,000円		

予算 3,850,000円

※その他の事業

◎ 奥津軽虫と火まつりの周知、そして伝承（仮称）（通年） 公2

「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活躍する事業。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	20,000円
・印刷製本費	5,000円	・保険料	10,000円
・委託費	30,000円	・雑費	30,000円

予算 100,000円

事業費合計 4,081,000円

地域委員会

担当副理事長 上 見 一 嘉

基本方針

我々の住み暮らす「故郷」は、四季折々の魅力ある景観や、人の温かさを心で感じる事が出来る素晴らしい地域であります。そんな心地良い「故郷」を更に発展させるべく、我々青年会議所の諸先輩方は20代から30代までの青年期に集い、これまで長きにわたり幾多の地域振興運動を展開して参りました。我々は諸先輩方から受け継いだこれまでの功績や「故郷」を愛する精神を継承し、地域市民の意識向上を図りながらこの先も「明るい豊かな社会」の実現に向け歩みを進めなければなりません。

その為には、行政・市民・JCが共に手を取り合いながら市民の生の声を市政に届ける為、世代を超えた市民参加型のまちづくり事業を今年も開催いたします。また、地域の様々な問題点を洗い出し、故郷の更なる発展に繋がる可能性を模索しながら、市民団体との協働によるまちづくり運動を推し進めて参ります。さらには、市民が当事者意識を高め自らが率先して地域振興に向けた事業を展開できるよう努めて参ります。

我々青年会議所がこれまで紡いできた精神やまちづくり運動を推し進めることで、地域市民に意識変革を促し、市民が地域の為に率先して行動を起こすことこそが地域の発展、牽いては夢溢れる「故郷」の創造に繋がることと信じ、一年間邁進して参ります。

委員長 平 山 稔 洋

基本方針

我々、五所川原青年会議所の先輩方は、「修練」「奉仕」「友情」の三信条を基に、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、地域振興運動を展開して参りました。また、地域のまちづくりには市民同士の信頼関係・交流等、地域の問題に積極的に取り組む市民の力が必要不可欠です。そこで、市民の力を引き出す為に市民・行政・青年会議所が一体となり、三者が同じベクトルに向け、市民意識の向上に向けた運動を展開していかなければなりません。

その為には、2012年度から行われた市民の生の声を市政に届けることのできる「市民討議会」を今年度も開催し、地域の発展に繋がる可能性を見出す為に真剣に議論を重ね、市民参画意識を高められるよう市民同士が共感・共有できる場を作り上げて参ります。また、2013年度より設立された、市民と青年会議所が協働で行う「らぶ・ごしょがわら実行委員会」を継続し、市民が率先して運動を展開できるよう努めて参ります。

地域のまちづくりを市民団体・行政と協働で行うことで、地域を支えているという当事者意識を持つことができ、時には大きな運動に発展していくものだと考えます。そして、「明るい豊かな社会」の実現、夢溢れる「故郷」の創造に繋がることと信じ、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会 らぶ・ごしょがわら運動（10月） 公3

市民・行政・青年会議所が連携し、五所川原の魅力を体験できるまちづくり運動を展開できる事業

・通信運搬費	8,000円	・保険料	10,000円
・印刷製本費	30,000円	・委託費	60,000円
・消耗品費	20,000円	・諸謝金	30,000円
・賃借料	90,000円	・雑費	22,000円

予算 270,000円

※その他の事業

◎ 五所川原市民討議会（7月） 公3

当事者意識を高め、明るい豊かな社会を創造する為の市民参加型討議会

・支払寄付金 238,000円

予算 238,000円

◎ らぶ・ごしょがわら実行委員会の運営（通年） 公3

らぶ・ごしょがわら運動を円滑に実施する為の実行委員会の運営

・支払寄付金 32,000円

予算 32,000円

◎ 五所川原市民討議会報告（11月） 公3

五所川原市民討議会での企画・立案を五所川原市・市民に報告する為

・支払寄付金 70,000円

予算 70,000円

◎ 五所川原市民討議会実行事業（11月） 公3

五所川原市民討議会で出された意見を基に具現化する事業

・通信運搬費	8,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	10,000円	・委託費	200,000円
・賃借料	30,000円	・雑費	12,000円

予算 270,000円

事業費合計 880,000円

ブロック大会特別室

担当室長 中西 宗興

基本方針

自然の美しさ・厳しさが同居する、我々が愛すべき「故郷」五所川原。今年度、青森ブロック協議会主催の青森ブロック大会が五所川原青年会議所主管で開催されます。これは県内各地会員会議所の皆様に五所川原の魅力を知って頂く絶好の機会であると同時に、地域の活性化の一助になりうる事業でもあり、当会メンバー一同おもてなしの心でお迎えし、青森ブロック協議会に対する支援をしていく事により、当会メンバーのJ C運動に対する意識高揚へと繋げていかなければなりません。

まず、メンバー一丸となって青森ブロック大会に取り組んでいく為に、当会メンバーに青森ブロック大会開催の目的の周知を図って参ります。そして、より多くの各地会員会議所の皆様に五所川原に来て頂く為、特別室が中心となり、当会メンバー全員とともに五所川原大会のPRを効果的・積極的にいき、五所川原の魅力を発信します。さらに、青森ブロック協議会との連絡調整・情報共有を確実にいき、大会の円滑な運営に寄与する事で、この大会を成功へと導いて参ります。

メンバーが切磋琢磨していく事で大会を成功に導き、会全体のJ C運動に対して取り組む姿勢が活性化することで、地域に対する運動の発信力を高め、より一層「明るい豊かな社会」の実現に向けて邁進していけるものと確信します。

担当理事 菊池 孝一

基本方針

今年度、青森ブロック協議会主催で行われる、第46回青森ブロック大会が五所川原青年会議所主管で開催されます。この大会を機に、県内各地会員会議所の皆様に奥津軽五所川原の魅力をメンバー一同で発信しつつ、おもてなしの心でお迎えをし、青森ブロック協議会と連携・協力していくとともに、この大会を通して、当会メンバーに新たな気づきを得てもらい、J C運動に対する参画意識を高めていかなければなりません。

まずは、当会メンバー一丸となって大会構築をしていく為に、実行委員会を組織、運営致します。そして、大会の概要・目的の周知を図り、大会成功へと導く為の定例会を開催致します。さらに、各地会員会議所の皆様に一人でも多く参加頂けるように、五所川原の文化、観光、自然、精神性などの魅力を発信するPRを行います。また、青森ブロック協議会と当会との情報を共有し、連携、協力を確実にし、大会の円滑な運営をして頂く為の一助となれるよう、全力で取り組んで参ります。

メンバーが一丸となり、この大会を成功に収めたのち、一人ひとりの意識と資質が向上することで、当会のJ C運動がより活発化し、地域発展へと寄与することが、この「故郷」の未来が「明るい豊かな社会」の実現へと繋がっていくと確信致します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会（3月） 他2

大会の概要・目的を周知し、全会員でブロック大会を成功させるという意識を共有する定例会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	3,000円	・貸借料	6,000円
・諸謝金	5,000円	・委託費	3,000円

予算 25,000円

※その他の主管

◎ 実行委員会の運営（3回） 他2

ブロック大会に係る会議体の運営

・通信運搬費	1,400円	・印刷製本費	14,800円
・貸借料	7,800円	・委託費	6,000円

予算 30,000円

事業費合計 55,000円

年間スケジュール表 (事業)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日本青年会議所	京都会議 21日(木)～24日(日) 総会 (京都)23日(土)		総会 (東京)26日(土)			ASPAC (台湾/高雄) 2日(木)～5日(日)
東北地区協議会	正副会議 (盛岡)4日(金) (仙台)29日(金) 役員会議 (盛岡)18日(月) 会員会議所会議 (京都)22日(金)	正副会議 (仙台)26日(金) 役員会議 (仙台)5日(金) ゼミナール開校式 (仙台)6日(土)	正副拡大会議 (石巻)28日(月) 役員会議 (登米)18日(金) ゼミナール第1講座 (大館)12日(土)～13日(日)	正副会議 (山形)29日(金) 役員会議 (八戸)8日(金) ゼミナール第2講座 (原町)16日(土)～17日(日)	正副会議 (大館)27日(金) 役員会議 (北上)13日(金) ゼミナール第3講座 (盛岡)14日(土)～15日(日)	正副会議 (五所川原)27日(月) 役員会議 (浪江)10日(金) ゼミナール第4講座 (山形)18日(土)～19日(日)
青森ブロック協議会	役員会議 (青森)13日(水) 会員会議所会議 (八戸)30日(土) アカデミー大学開校式 第一講座 (八戸)30日(土) 新春名刺交換会 (八戸)30日(土)	役員会議 (青森)10日(水) 会員会議所会議 (十和田)27日(土)	役員会議 (青森)9日(水) 会員会議所会議 (むつ)4月2日(土)	役員会議 (青森)13日(水) 会員会議所会議 (弘前)30日(土) アカデミー大学第二講座 (弘前)9日(土)～10日(日)	役員会議 (青森)11日(水) 会員会議所会議 (黒石)28日(土)	役員会議 (青森)8日(水)・29日(水) 会員会議所会議 (青森)18日(土) アカデミー大学第三講座 (青森)11日(土)～12日(日)
五所川原青年会議所	新年祝賀会	通常総会	定例会	定例会	定例会	奥津軽虫と火まつり
理事会	5日(火)	5日(金)	5日(土)	5日(火)	5日(木)	5日(日)
総務委員会	新年祝賀会	通常総会				
青少年委員会					わんぱく相撲地区大会	
まつり委員会				定例会主管		奥津軽虫と火まつり
地域委員会	らぶごしよがわら運動 (通年)					
会員委員会				異業種交流会	定例会主管	O B交流会
ブロック大会特別室			定例会主管			

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本青年会議所	サマーコンファレンス (横浜) 16日(土)～17日(日)			全国大会 (広島)6日(木)～9日(日) JCI世界会議 (ケベック) 10月30日(日)～11月4日(金)		
東北地区協議会	正副拡大会議 (原町)22日(金) 役員会議 (泉)8日(金) ゼミナール第5講座 (八戸)30日(土)～31日(日)	正副会議 (横手)19日(金)	正副拡大会議 (酒田)23日(金) 役員会議 (登米)2日(金) ゼミナール開校式 (登米)3日(土) 東北青年フォーラム (酒田)3日(土)～4日(日)	正副会議 (郡山)28日(金) 役員会議 (湯沢)14日(金)	正副拡大会議 (水沢)25日(金) 役員会議 (新庄)14日(月)	役員会議 (盛岡)1日(木) 会員会議所会議 (盛岡)2日(金)
青森ブロック協議会	会員会議所会議 (五所川原)2日(土) アカデミー大学第四講座 (五所川原)2日(土)～3日(日) ブロック大会 (五所川原)2日(土)～3日(日)		役員会議 (青森)14日(水) 会員会議所会議 (十和田)24日(土) アカデミー大学第五講座 (十和田)10日(土)～11日(日)	役員会議 (青森)12日(水) 会員会議所会議 (三沢)22日(土) アカデミー大学第六講座 開校式 (三沢)22日(土)	役員会議 (青森)9日(水) 会員会議所会議 (八戸)26日(土)	
五所川原青年会議所	選考委員会選挙	定例会	通常総会	定例会	市民討議会実行事業	定例会
理事会	5日(火)	5日(金)	5日(月)	5日(水)	5日(土)	5日(月)
総務委員会	選考委員会選挙		通常総会			定例会主管
青少年委員会	わんぱく相撲全国大会	定例会主管				
まつり委員会						
地域委員会	市民討議会			定例会主管	市民討議会実行事業 市民討議会報告	
会員委員会		会員家族交流会	新入会員セミナー			
ブロック大会特別室	ブロック大会五所川原					